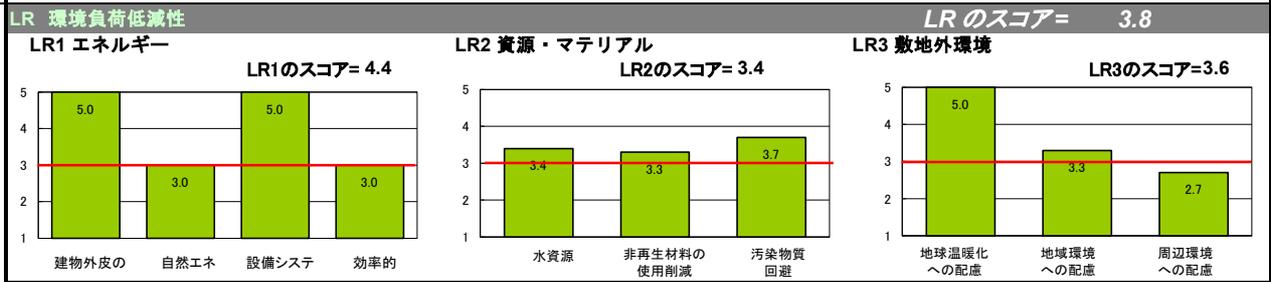
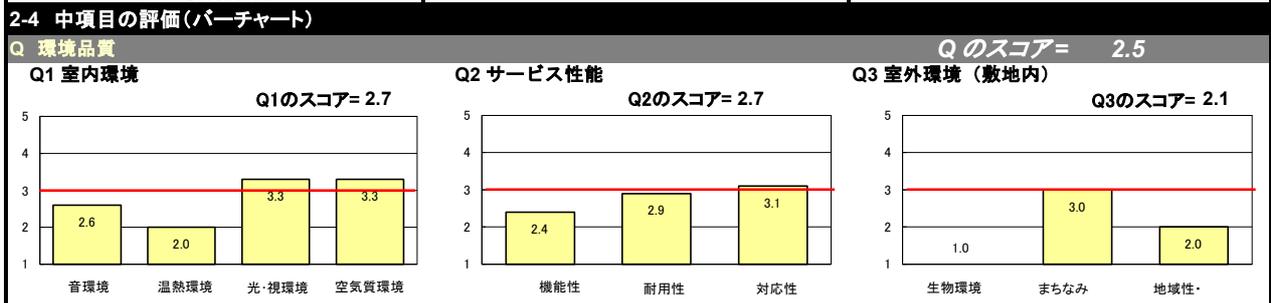
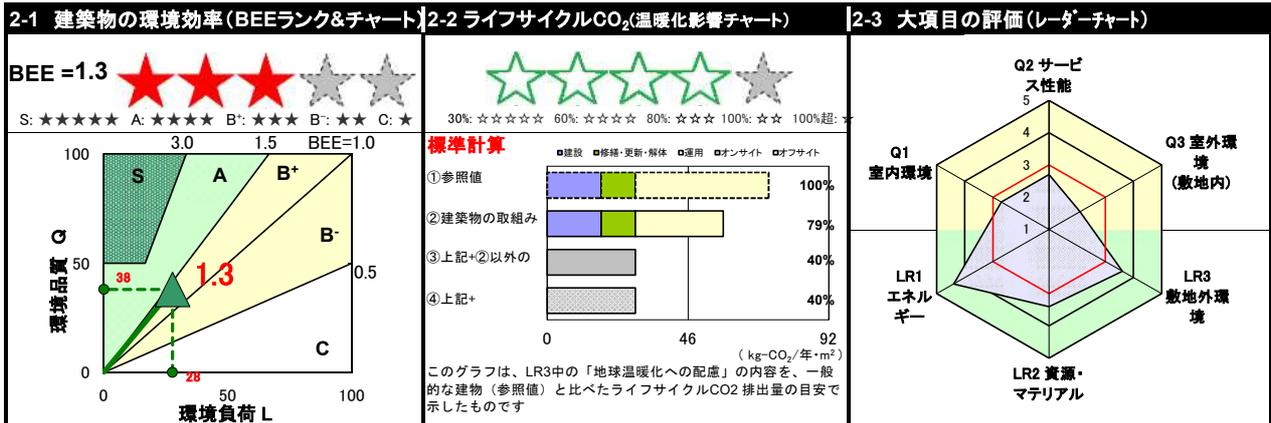
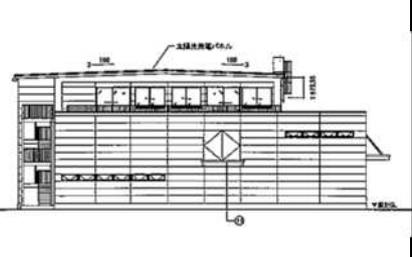


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本ビニールコード(株)埼玉工場増築	階数	地上3F
建設地	埼玉県本市	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域・指定なし	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	920時間/年(想定値)
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2024年3月16日
敷地面積	3,011㎡	作成者	
建築面積	891㎡	確認日	2024年4月25日
延床面積	2,167㎡	確認者	



3 設計上の配慮事項

総合	その他
利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。	0
Q1 室内環境 2.5% ≤ [昼光率] 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.7m以上 給水H I V P (B)、給湯SUS (C)、排水V P (B)、Eは不使用
LR1 エネルギー B P I m = 0.5、 B E I m = 0.00。	LR2 資源・マテリアル 節水コマに加えて、節水型便器も使用している。
	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量40%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
日本ビニールコード(株)埼玉工場増築計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.5	
Q1 室内環境					0.32		-	2.7	
1 音環境				2.6	0.15		-	2.6	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.0	0.35		-	2.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				1.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.3	0.25		-	3.3	
3.1 昼光利用				4.2	0.30		-		
1 昼光率		2.5% ≤ [昼光率]		5.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				3.3	0.25		-	3.3	
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.6	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。		5.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-		
4.3 運用管理				1.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御				1.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-	2.7	
1 機能性				2.4	0.40		-	2.4	
1.1 機能性・使いやすさ				1.6	0.40		-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		事務室の天井高2.7m以上		4.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース		執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機等の設置		5.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				2.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水HIVP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不使用。		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.6	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.1	0.30		-		3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30		-	-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ		0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	4.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38		-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	-	3.8
LR1 エネルギー			-	0.40		-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.5	5.0	0.20		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = -	5.0	0.50		-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20		-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価				-		-	-	
4.1 モニタリング				-		-	-	
4.2 運用管理体制				-		-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20		-	-	3.4
1.1 節水		節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60		-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床:ビニル床タイル、断熱材	4.0	0.22		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS使用している。	4.0	0.22		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70		-	-	
1 消火剤			-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	5.0	0.50		-	-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率40%	5.0	0.33		-	-	5.0
2 地域環境への配慮			3.3	0.33		-	-	3.3
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制			2.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	-	
1 騒音			3.0	1.00		-	-	
2 振動			-	-		-	-	
3 悪臭			-	-		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-		-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70		-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	日本ビニールコード(株)児玉工場	BEE	1.3	BEEランク	★★★
------	------------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
5.0	+	2.0	=	7.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上	
				すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	5.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	5.0
ライフサイクルCO2排出率40%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			
植栽により、敷地内暑熱環境を緩和する。			

: 入力欄